

社会政策学会 Newsletter

- ◇ 学会本部 同志社大学 社会学部 埋橋孝文研究室
URL: <http://jasps.org/> TEL: 075-251-4502 E-mail: uzuhashi01@gmail.com
- ◇ 編集・発行 埋橋孝文(代表幹事) 郭芳・首藤若菜(Newslatter 担当幹事) 所道彦(事務局長)
- ◇ 事務センター 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル (株)ワールドプランニング
Tel:03-5206-7431 Fax:03-5206-7757 E-mail:jasps@worldpl.jp

【目次】

1. 第 140 回 (2020 年度春季) 大会のお知らせ
2. 第 140 回 (2020 年度春季) 大会実行委員会の挨拶
3. 第 141 回 (2020 年度秋季) 大会実行委員会からのお知らせ
4. 第 141 回 (2020 年度秋季) 大会の開催予告および報告募集
5. 第 139 回 (2019 年度秋季) 大会報告
6. 第 139 回 (2019 年度秋季) 大会会計報告
7. 2018-2020 年期幹事会報告
8. 2020-2022 年期幹事会第 1 回準備会報告
9. 承認された新入会員

1. 第 140 回 (2020 年度春季) 大会のお知らせ

社会政策学会 140 回大会は、2020 年 5 月 23 日 (土) と 5 月 24 日 (日)、首都大学東京 (4 月より東京都立大学) で開催されます。第 1 日は、テーマ別分科会、自由論題、国際交流分科会などを行います。報告の申込みはすでに締め切られており、テーマ別分科会・国際交流分科会として計 8 つ企画、自由論題として 18 報告が採択されました。すでに申込者の方には結果を通知しておりますのでご確認ください。さらに、若手研究者向けの教育セッションも開催いたします。また、第 2 日は、午前中に、テーマ別分科会、自由論題、国際交流分科会などを、午後に共通論題を、それぞれ行います。共通論題は、「オリンピック・パラリンピック後をみすえた社会政策の新地平」をテーマに、座長(兼コメンテータ)を岩崎晋也法政大学教授とし、内藤忍労働政策研究・研修機構労使関係部門副主任研究員、鈴木直文一橋大学教授、田中暢子桐蔭横浜大学教授にご報告いただき、議論いたします。

(報告者の方へのお願い)

分科会・自由論題のフルペーパーは電子化されております。フルペーパーが用意されることで報告が成立するという点をご理解いただき、期日までにフルペーパーをご提出いただきますようお願いいたします。レジュメなど当日配布資料等は開催校ではお預かりしませんので、宅配便等により開催校に送付されないようお願いいたします。

(春季企画委員会 鬼丸 朋子)

2. 第 140 回 (2020 年度春季) 大会実行委員会の挨拶

社会政策学会第 140 回 (2020 年度春季) 大会は、2020 年 5 月 23 日 (土)・24 日 (日) に、東京都立大学 (現、首都大学東京) で開催されます。図らずも、本大会は、学生・教員の切望であった名称変更が現実となり、未だに大多数の都民に親しまれている「都立大学」の名称に戻る 4 月からたった 1 ヶ月での開催の運びとなります。新しい「東京都立大学」として、皆さまをお迎えできることを、とても嬉しく思います。

本大会は、オリンピックの年にタイムリーなシンポジウム「オリンピック・パラリンピック後をみすえた社会政策の新地平」が開催される予定であり、また、社会政策学会戦後再建 70 周年記念大会ということもあって、若手研究者優秀賞の設立、教育セッションなど若手向きの新規事業も盛りだくさんです。テーマ別セッションは 8 セッション、自由論題も 6 セッション企画されています。ベテラン、若手の両方が楽しみ、学ぶ機会になるかと思えます。

東京での開催ということで、地域の名物地酒や御馳走を

お披露目することはできませんが、新宿駅から40分の駅前という立地の良さもございますので、東京近辺および各地の学会員の皆さまには是非ご参加いただければと思います。

(第140回大会実行委員長 阿部 彩)

3. 第141回(2020年度秋季)大会実行委員会 からのお知らせ

10月24日(土)、25日(日)に立命館大学びわこ・くさつ・キャンパス(BKC)で、141回大会を開催します。BKCは、滋賀県草津市に立地しています。最寄りの駅は、JR京都駅から「新快速」で19分のJR南草津駅です。同駅からバスで約15分を要します。

なお、宿泊については観光シーズンになるため京都のホテルは混雑が予想されます。草津市内のホテルについて紹介させていただきますが、予約はご自身でお早めにお済ませください。

草津市内のホテル

○アーバンホテル南草津

uh-urban.com/minami-kusatsu/

TEL 077-561-0606

○草津エスタリアホテル

<https://www.estopia.jp/>

TEL 077-565-3333

○ホテルボストンプラザ草津びわこ

www.hotel-bp.co.jp/

TEL 077-561-3311

○東横イン南草津

<https://www.toyoko-inn.com/search/detail/00286/>

TEL 077-561-1045

(第141回大会実行委員長 佐藤 卓利)

4. 第141回(2020年度秋季)大会の開催予告 および報告募集

第141回大会は以下のように開催いたします。

日時：2020年10月24日(土)～10月25日(日)

会場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

■10月24日(土) 書評分科会(場合により一部の自由論題またはテーマ別分科会)、共通論題「仕事の世界における権力とハラスメント」

●座長：未定

●報告者：①申 琪榮 会員(お茶の水女子大学)

②野村正實 会員

③④報告者未定

■10月25日(日) 自由論題、テーマ別分科会

*自由論題報告、テーマ別分科会の募集日程は以下のとおりです。

・募集案内の告知 2020年3月25日(水)

・募集開始 2020年5月22日(金)

・募集締め切り 2020年6月24日(水)

**フルペーパー・ファイルの提出期間は9月28日(月)～10月5日(月)を予定しています。締切の厳守をお願いいたします。

(秋季大会企画委員会 吉村 臨兵・森 周子)

5. 第139回(2019年度秋季)大会報告

法政大学大原社会問題研究所は、2019年2月9日に創立100周年を迎えました。この百周年記念事業の一環として、社会政策学会の開催校をお引き受けし、幹事会の承認を受けたのは2017年秋のことでした。近年、東京都心での学会開催は極めて困難な状況にあります。特に新年度になって間もない春季大会の教室確保は絶望的で、開催校がなかなか決まらず、2019年度は春季大会を高知で行うことになりました。そこで、秋季大会であればとお引き受けした次第です。法政大学大原社会問題研究所長である鈴木玲会員、藤原千沙会員の協力を得て実行委員会を組織し、大会は303人の参加者を得て、無事終了しました。

会場の確保

授業がある土曜日の教室確保が困難なため、土曜日はホールを利用して共通論題を実施し、日曜日にテーマ別分科会等を開催する計画で、まずはホールを予約しました。開催日はホールが取れる日程で、かつ同キャンパスで開催す

る大原社会問題研究所創立 100 周年・法政大学合併 70 周年記念特別展示の期間中としました。ただし、その後、新幹事会で共通論題を半日にする方針転換があり、土曜日も教室の確保をしなければなりません。なんとか 4 月から稼働する新校舎を確保しましたが、ホールのある外濠校舎と教室のある大内山校舎は離れており、学内の工事で動線も複雑になり、ご不便をおかけすることになってしまいました。なお、法政大学では学会での教室貸与について利用料は無料ですが、清掃費等の諸費用がかかります。最終的に約 38 万円の請求書が届き少々焦りましたが、同時に大学の学会開催補助制度により約 30 万円の補助を受けることで相殺できました。

業務委託

大会開催時の事前・事後処理をお願いしている AC プランニングへの業務委託は入金管理、参加者名札等の作成、当日領収証の作成、出版社対応にとどめ、プログラムの印刷・発送に関する業務は研究所に出入りしている地元の業者に依頼し、当日の設営等は学内の業者に委託しました。結果的に、印刷・発送費は安く抑えることができ、当日も、学内の案内看板等の設置・撤収を一括してお任せできたので、人手のない我々には好都合でした。なお、当日は、学内会員のご協力を仰ぐことができ、大変助かりました。また、大原社会問題研究所の兼任研究員にもお手伝いいただき、安心して受付を任せることができました。会場係は配置しない方針をとりましたが、特に問題はなかったようです。

受付について

限られた人数で大会時の受付をスムーズに行うため、事前に申し込まれた方の名札を五十音順に並べ、各自でとるセルフ方式を採用し、受付係は資料の入ったトートバックをお渡しするだけにしました。「当日受付」に多くの人員を配置することができ、好評でした。なお、大会参加費の事前振込には〆切を設けていますが、締切日を過ぎて振り込まれるケースがあとをたたく、問題となっていました。今回は〆切厳守と明記し、〆切日を過ぎた申し込みは当日申し込みとして処理することとし、受付で差額を徴収しました。厳しい対応にお怒りの会員もいたようですが、ご理解いただければ幸いです。また、非会員の登壇者で受付をすり抜けた方が数人いたのは残念でした。部会等で非会員

を招へいする場合は、あらかじめ参加手続きをどうするかきちんとご確認ください。なお、今回驚いたことは、振込金額を間違える会員が少なくない点です。わずかな金額でも差額が生じると、学会当日、受付で徴収や返金の手間がかかります。振込の際はぜひ金額をお確かめいただければと思います。

情報保障について

近年の大会では、共通論題のディスカッション時に情報保障として要約筆記をつけることになっています。今回、大会運営にご協力いただいた学内会員に聴覚障害のある方がいたため、現行制度について検証をお願いしました。一般に、話し手の通常の手速は、漢字かな交じり文で約 300~350 字/分であるのに対し、要約筆記は 180 文字/分程度なので、いかに適切に文意をとらえるかが重要だそうです。しかし、当事者の感覚としては、学部生のノートテイクと変わらないレベルで、これに 4 人分の人件費は高すぎると驚かれました。また、「ステノキャプショナー」という方式も検討してみてもどうかとの提案を受けました。引き続き検討をお願いできればと思います。

お弁当、懇親会、お茶菓子の手配

実行委員会として気を配ったのは、休憩室に配置するお茶菓子、そしてお弁当や懇親会の質です。お弁当を厳選し、飲み物類も多めに用意し、珈琲・紅茶と焼き菓子のデリバリーサービスを利用しました。また、懇親会は、会場を広く確保するため、あえて多めに予約しました。若干費用が高くなりましたが、満足度は高かったと思います。なお懇親会では、大原社会問題研究所の元所長で社会政策学会の代表幹事も務めた二村一夫名誉会員にご挨拶いただきました。前回法政大学で開催した 2004 年春季大会で実行委員長を務めた早川征一郎名誉会員にもご参加いただき、学会と関係の深い大原社会問題研究所の百周年記念事業としても成功であったと思います。

最後になりましたが、この間大変お世話になりました吉村臨兵秋季大会企画委員長に御礼申し上げます。おいしいお土産を差し入れていただき、ありがとうございました。

(第 139 回大会実行委員長 榎 一江)

6. 第139回(2019年度秋季)大会会計報告

社会政策学会第139回大会会計報告			
収入		支出	
学会開催費(社会政策学会より)	1,500,000	教室貸与料(清掃費、空調費等)	378,969
学会開催補助(法政大学より)	302,967	ACプランニング業務委託費	368,848
		プログラム印刷・発送委託費	295,889
		会場設営・機器準備委託費	128,400
		学会手伝い謝礼	278,000
		トートバッグ代	165,996
		実行委員会経費	84,760
		お茶菓子代	61,120
		送料	15,895
		別会計へ	25,090
	1,802,967		¥1,802,967
別会計			
収入		支出	
お弁当代(61人分)	67,100	お弁当代(実行委員会負担分含)	89,640
懇親会費:事前(92人×6,000)	552,000	懇親会費	869,550
懇親会費:当日(25人×7,000)	175,000		
広告費	140,000		
本会計より	25,090		
	959,190		959,190

参加者内訳		
事前	一般会員	153
	院生会員	14
当日	一般会員	73
	院生会員	11
	非会員	47
名誉会員		2
招待		3
合計		303

(第139回大会実行委員長 榎 一江)

7. 2018-2020 年 期幹事会報告

第 13 回幹事会議事録

日時：2020 年 2 月 8 日（土）13：00～16：00

場所：同志社大学東京オフィスセミナー室

出席：阿部、石井、伊藤、岩永、禹、埋橋、鬼丸、郭、熊
沢、金、所、戸室、中尾、上村、吉村、畑本、玉井、
森、李

欠席：榎、遠藤、大沢、垣田、首藤、杉田、田中、兵頭、
朴

1. 春季大会企画委員会報告

鬼丸委員長より、第 140 回大会準備についての報告があった。テーマ別分科会で 8 本（国際交流委員会 1 本を含む）、自由論題で 18 本の応募があり、一部条件付きで（現在海外在住で学会費の振込が難しい会員 1 名及び本日の幹事会で入会が承認された会員は、2020 年 2 月 21 日までの会費納入が確認できた場合に報告が承認される）採択された。教育セッションについては、「『社会政策学会誌』へのレフリードペーパー投稿に向けて」とし、共通論題のタイトルは「オリンピック・パラリンピック後をみすえた社会政策の新地平」とすることが報告され了承された。博士論文報告会について、第 136 回大会の報告会で報告された博士論文の内、これまでに書籍化されたものに加えて、新たに 1 報告が書籍化されたことが報告された。

2. 学会賞選考について

埋橋代表幹事より、学会賞受賞対象者について、3 月末の段階で会員資格喪失を判断した場合、受賞対象にならないことが提案され、了承された。

また、学会賞への疑義に対する取り扱い内規（案）の説明があり、了承された。

3. 役員選挙について

埋橋代表幹事より、役員選挙の投票期間延長についての問題提起をめぐる経過報告があり、議論を行った。その結果は下記のようにまとめられた。ただし、まだ検討すべき事柄もあり、引き続いて 4 月の幹事会で継続して検討することになった。

2019 年度の 36 期役員選挙は当初の締め切りの段階で過去と比べて投票率が低く、そのため 1 週間投票期間を延長して実施された。これは、令和への改元に伴って印刷所が繁忙を極め、そのため「役員選挙のお知らせ」を掲載したニューズレターが発行が遅れたことも影響しているものと判断されたことから、やむなく緊急避難的に取られた措置であり、少しでも投票率を上げ代表性を高めようとしたものであった。したがって、幹事会としては、選挙管理委員会の報告通り選挙結果は有効であると考えている。ただし投票期間は原則として変更すべきものでないことも事実であり、結果的に投票率の低さを投票期間の延長によって対応しようとした点は反省すべき点といえる。幹事会は、今回の対応を前例にしないことにすることを確認するとともに、低調な役員選挙全体を深く受け止めて反省し、今後の対応を検討することとした。

4. 秋季大会企画委員会報告

吉村委員長より、第 141 回大会の準備状況についての報告があった。共通論題のテーマは「仕事の世界における権力とハラスメント」(仮)とすることで、了承された。

なお、埋橋代表幹事より、立命館大学の佐藤卓利会員からの、第 141 回大会（於・立命館大学びわこ・くさつキャンパス）の日程は、2020 年 10 月 24 日-25 日であること、24 日に書評分科会と共通論題、25 日にテーマ別論題と自由論題を行う予定との知らせが報告され、了承された。

5. 第 139 回大会実行委員会報告

榎実行委員長（森秋季大会企画副委員長代読）により、第 139 回大会で発生した情報保障の課題に関する説明（第 139 回大会報告を参考）があった。「ステノキャプショナー」という方式の検討が提案され、時間的な余裕があり可能ならば、第 140 回大会での導入を検討することとした。

6. 学会誌編集委員会報告

石井委員長より、学会誌の刊行進捗状況と論文の投稿状況についての報告があった。

7. 広報委員会報告

伊藤委員長より、学会賞選考用業績リスト検索プログラムと委員会引継ぎについての報告があった。

金副委員長より、英文ニューズレター第5号の発行の準備状況についての報告があった。

8. 国際交流委員会報告

上村委員長より、第140回大会における基幹交流事業についての説明があり、了承された。また、日韓、日中の研究交流事業についての進捗状況、国際学会報告助成制度、海外研究者招聘助成制度、日本経済学会連合「外国人学者招聘滞日補助」「国際会議派遣補助」の運用状況についての報告があった。

9. 記念誌刊行委員会報告

玉井委員長より、学会戦後再建70周年記念誌の概要と刊行のスケジュールについての報告があった。

10. 名誉会員の推挙について

埋橋代表幹事より、名誉会員の推挙の周知があった。推挙の方法について検討されたが、審議の結果、これまで通りに、推挙会員の業績と学会への貢献度などの基準と幹事の推薦に基づき、幹事会で検討、決定することとなった。

11. 会員入会について

13名の入会申し込みを承認した。

その他

埋橋代表幹事より、第140回の大会に「社会政策学会戦後再建70周年記念大会」という副タイトルをつけることが提案され、了承された。

禹会員より、大会若手研究者優秀賞の選考委員として、重点事業担当の禹会員、所会員、垣田会員に加えて、新たに金会員、熊沢会員を委嘱するとの提案があり、了解された。

次回の幹事会の日程

次回の幹事会（第14回）は、2020年4月18日（土）13時から同志社大学東京オフィスにて開催することが了承された。

8. 2020-2022 年 期 幹 事 会 第 1 回 準 備 会 報 告

2020-2022 年 期 幹 事 会 第 1 回 準 備 会 議 事 録

日 時：2020年2月8日（土）16：00～16：45

場 所：同志社大学東京オフィス会議室

出 席：猪飼周平、石井まこと、伊藤大一、岩永理恵、禹宗杭、埋橋孝文、鬼丸朋子、金子良事、上村泰裕、熊沢由美、所道彦、布川日佐史、水野有香、森周子

欠 席：榎一江、首藤若菜、杉田菜緒、田中聡子、藤原千沙、松本伊智朗、森詩恵

幹事選挙の選挙期間延期について意見交換を行い、2018-20 年 期 幹 事 会 の 検 討 結 果 に 従 う こ と を 確 認 し た 。 そ の 後 、 選 出 幹 事 の 互 選 に よ り 、 次 期 代 表 幹 事 と し て 、 石 井 ま こ と 会 員 を 選 出 し た 。

9. 承認された新入会員

①若杉英治	東京福祉大学留学生教育センター	社会保障・社会福祉
②矢口修一	株式会社エフテック管理本部	労使関係・労働経済
③宮地弘子	職業能力開発総合大学校能力開発院	その他
④山本咲子	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科	ジェンダー・女性
⑤湯承晨	首都大学東京大学院人文科学研究科	社会保障・社会福祉
⑥孫琳	同志社大学大学院社会学研究科	社会保障・社会福祉
⑦近藤沙耶	桐蔭横浜大学大学院スポーツ科学研究科	社会保障・社会福祉
⑧近藤天之	首都大学東京大学院人文社会科学研究所	社会保障・社会福祉
⑨今岡直之	沖縄大学地域研究所	社会保障・社会福祉 生活・家族
⑩鈴木恭子	東京大学大学院学際情報学府	労使関係・労働経済
⑪米本倉基	藤田医科大学保健衛生学部	社会保障・社会福祉
⑫吉田正	日本能率協会 理事長	労使関係・労働経済
⑬乾彰夫	首都大学東京人文学部	社会保障・社会福祉 その他